

調査レポート

会員の皆様にご協力いただきました調査の結果がまとまりましたので、以下の通りご報告させていただきます。

【本件照会先 埼玉県経営者協会 根岸・宮田・村上 TEL 048-647-4100】

企業動向調査・特別調査（10年10月実施）調査結果

- 調査概要 調査対象 805 社 有効回答数 158 社 回収率 19.6%
- 業種内訳 内製造業 79 社 内非製造業 79 社
- 資本金別
- | | |
|-----------------------|-----|
| ・5000万円以下 | 60社 |
| (未記入1社)・5000万円超～1億円以下 | 37社 |
| ・1億円超～3億円以下 | 17社 |
| ・3億円超 | 44社 |

企業経営動向調査結果

I. 景況判断

1. 国内景気 DI (「上昇」－「下降」)		10年7月調査	10年10月調査
最近	全社	+ 5	- 31
	内製造業	+ 15	- 24
	内非製造業	- 5	- 39
先行き (6カ月先)	全社	- 7	- 65
	内製造業	- 4	- 67
	内非製造業	- 9	- 63

・最近のDIは全社-31、製造業-24、非製造業-39と、34～39ポイントの大幅悪化となった。

・先行きのDIは全社、製造業、非製造業とも-60を超え、50ポイントを超える急激な悪化となるなど、更に厳しい見通しとなっている。

2. 業界の景気 DI (「上昇」－「下降」)		10年7月調査	10年10月調査
最近	全社	- 12	- 33
	内製造業	+ 12	- 27
	内非製造業	- 36	- 40
先行き (6カ月先)	全社	- 21	- 60
	内製造業	- 9	- 55
	内非製造業	- 33	- 65

・最近のDIは全社-33と、製造業の39ポイントの大幅な悪化を受け、20ポイントを超える悪化となった。

・先行きのDIは、更に悪化し全社-60、製造業-55、非製造業-65と極めて厳しい見通しとなっている。

3. 自社の業況 DI (「上昇」－「下降」)		10年7月調査	10年10月調査
最近	全社	+ 11	- 8
	内製造業	+ 26	- 5
	内非製造業	- 4	- 10
先行き (6カ月先)	全社	- 4	- 29
	内製造業	+ 2	- 29
	内非製造業	- 10	- 28

- ・自社の業況を見ると最近の DI では、全社-8、製造業-5、非製造業-10 と前回調査比で、製造業が 30 ポイントを超える大幅な悪化となった。
- ・先行きの DI では、全社、製造業、非製造業ともに-30 程度と更に悪化すると予測している。

II-1. 経営動向 (売上高)

1. 売上高 DI (対前四半期比)	実績		見込み (見通し)	
	10/1-3	10/4-6	10/7-9	10/10-12
全社			(+ 20)	(+ 14)
	+ 21	+ 11	+ 9	- 9
内製造業			(+ 31)	(+ 11)
	+ 42	+ 17	+ 21	- 18
内非製造業			(+ 9)	(+ 17)
	0	+ 4	- 4	- 1

()内は 10 年 7 月調査見通し

- ・10/7-9 実績見込みは、非製造業を除き、前期比増収を見込んでいるものの、10 年 7 月調査見通し比では、10 ポイント程度悪化している。
- ・10 年 10-12 見通しについては、7 月調査見通しに比べ、全体、製造業、非製造業ともに大幅悪化している。

2. 経常利益 DI (対前四半期比)	実績		見込み (見通し)	
	10/1-3	10/4-6	10/7-9	10/10-12
全社			(+ 18)	(+ 9)
	+ 32	+ 7	- 3	- 6
内製造業			(+ 27)	(+ 5)
	+ 42	+ 9	+ 11	- 11
内非製造業			(+ 9)	(+ 14)
	+ 22	+ 5	- 17	0

()内は 10 年 7 月調査見通し

- ・10/7-9 実績見込みは、前期比で製造業を除きマイナスに転じている。また、7 月調査見通し比では大幅に悪化している。
- ・10/10-12 見通しについては、7 月調査見通し比で大幅に悪化しており、前期比では、特に製造業の落ち込みが激しくなっている。

Ⅲ. その他

1. 製品の在庫水準 DI (「過大」－「不足」)		10年7月調査	10年10月調査
最近	全社	+ 11	+ 12
	内製造業	+ 16	+ 19
	内非製造業	+ 6	+ 5
先行き (6カ月先)	全社	0	+ 10
	内製造業	- 2	+ 16
	内非製造業	+ 2	+ 4

- ・最近の在庫水準 DI は前回調査とほぼ同水準で、在庫過大状況が続いている。
- ・先行きは最近のDI とほぼ同水準となっているが、前回調査比では過剰感が拡大している。

2. 生産・営業用設備 DI (「過剰」－「不足」)		10年7月調査	10年10月調査
最近	全社	- 2	+ 8
	内製造業	- 9	+ 9
	内非製造業	+ 7	+ 7
先行き (6カ月先)	全社	+ 3	+ 2
	内製造業	- 1	+ 9
	内非製造業	+ 7	- 5

- ・最近の設備 DI は、前回調査との比較では、製造業では10ポイント9過剰感は増している。
- ・先行きでは非製造業で過剰感が解消されるのに対し、製造業では過剰感が高まっている。

3. 雇用人員 DI (「過剰」－「不足」)		10年7月調査	10年10月調査
最近	全社	+ 6	+ 8
	内製造業	+ 4	+ 8
	内非製造業	+ 7	+ 8
先行き (6カ月先)	全社	+ 2	+ 8
	内製造業	+ 1	+ 8
	内非製造業	+ 2	+ 8

- ・最近の雇用人員 DI は、前回調査との比較では、僅かではあるが、過剰感が高まっている。
- ・先行きのDI も引き続き過剰感が続くものと見込まれるものの、その水準は最近と同水準で推移するものと見込んでいる。

4. 資金繰り DI (「楽」－「厳しい」)		10年7月調査	10年10月調査
最近	全社	+ 7	- 1
	内製造業	+ 4	- 6
	内非製造業	+ 10	+ 5
先行き (6カ月先)	全社	- 1	- 7
	内製造業	- 4	- 11
	内非製造業	+ 2	- 1

・最近の資金繰り DI は、前回調査との比較では、5～10 ポイント悪化しており、資金繰りは少しずつ厳しさを増している。

・先行きをみると、資金繰りはさらに悪化傾向を辿り、非製造業でも DI はマイナスに転じる見通しとなっている。

5. 販売価格 DI (「上昇」－「下落」)		10年7月調査	10年10月調査
最近	全社	- 26	- 25
	内製造業	- 23	- 20
	内非製造業	- 30	- 30
先行き	全社	- 23	- 34
	内製造業	- 25	- 31
	内非製造業	- 20	- 37

・最近の販売価格 DI は前回調査との比較では、ほぼ横ばいであり、価格下落傾向が続くものとみている。

・先行きは、さらに悪化しており、価格下落傾向が強まるものとみている。

6. 仕入価格 DI (「上昇」－「下落」)		10年7月調査	10年10月調査
最近	全社	+ 8	+ 5
	内製造業	+ 15	+ 4
	内非製造業	+ 1	+ 5
先行き	全社	+ 16	+ 11
	内製造業	+ 26	+ 16
	内非製造業	+ 5	+ 6

・最近の仕入価格 DI は、引き続き上昇するとみているものの、前回調査比では DI は縮小している。

・先行き DI は、最近よりも拡大しているものの、前回調査比では DI は、僅かではあるが縮小してきている。

特別調査結果

I. 人事・教育領域で特に重視している課題（重複回答／3つ以内）

順位	重視している課題	回答比率 (%)	順位	重視している課題	回答比率 (%)
1	管理職層のマネジメント能力の強化	20.2	7	社員の健康管理	7.6
2	事業展開に応じた機動的な人材配置	13.3	8	グローバル人材の強化	5.3
3	社員の働きがいの醸成	10.0	9	中途採用の確保・強化	4.4
4	賃銀・評価・昇進制度の見直し・定着	8.2	10	社員の専門能力や語学力の強化	3.3
5	次世代経営層の発掘・育成	8.0	11	キャリア開発支援の強化	3.1
6	残業時間の適正管理	7.8	12	その他	8.8

II. 能力開発の重点としてより強化したいと考えている研修分野（重複回答／3つ以内）

順位	強化したい研修分野	回答比率 (%)	順位	強化したい研修分野	回答比率 (%)
1	中堅社員研修	13.8	7	目標管理・考課者研修	6.0
2	中堅管理者研修（部課長）	12.2	8	新入社員研修	4.4
3	初級管理者研修（主任・係長）	9.2	9	品質管理研修	4.1
4	技術・技能職研修	8.3	10	後輩指導員・OJTリーダー研修	3.9
5	経営幹部研修（役員・役員候補者）	7.1	11	メンタルヘルス研修	3.5
6	営業職研修	6.5	12	その他	21.0

III. 23年4月新卒採用の状況について（単位：％）

	増加	横這い	減少	採用予定なし
全 体	13.3	36.1	13.9	36.7
製造業	13.9	38.0	16.5	31.6
非製造業	12.7	34.2	11.4	41.8

外国人採用ニーズに関するアンケート調査・調査結果

□調査概要 ・調査対象 805 社 ・回答社数 232 社 ・回収率 21.1%

Q1. 過去に外国人採用を行いましたか？

- 採用した 97 社 (41.8%) □採用していない 132 社 (56.9%)
□無回答 3 社 (1.3%)

Q2. 現在採用しているまたは今後採用する予定がありますか？

- ある 63 社 (27.2%) □ない 164 社 (70.7%)
□無回答 5 社 (2.2%)

Q2 - 1. 採用している又は採用予定がある場合は日本人と区別して採用していますか？

- 区別して採用している (したい) 21 社 (27.3%)
□区別しないで採用している (したい) 56 社 (72.7%)

※本来、本質問は Q2 の「ある」と回答している企業 (63 社) が対象であるが、それ以外の企業も回答しているため、総数は 77 社となっている。無記名回答もありデータ修正が不可能なので元データで集計している。(以下も同様)

Q2 - 2. 現状では採用がない場合、今後はどのように考えていますか？

- 今後検討したい 27 社 (18.0%) □検討する予定はない 123 社 (82.0%)

Q2 - 3. 予定がない場合差し支えない範囲で理由をお聞かせ下さい

- ・記入は少なかったが、記入していただいた回答の大半は「日本人・外国人を問わず人員を増加させる環境にない」「外国人を採用する必要性がない業務であるから」に集約される。

Q3. 採用対象として考える外国人は次のいずれですか？

- 国内に住む外国人 55 社 (90.2%) □国外に住む外国人 6 社 (9.8%)

Q3 - 1. 国内に住む外国人は以下のいずれですか？

- 外国人留学生 20 社 (23.8%) □外国人留学生以外 20 社 (23.8%)
□どちらでもよい 44 社 (52.4%)

Q3 - 2. 採用対象とする外国人の学歴は？

- | | | | |
|---------------------------------|-------------|---------------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 学部卒業 | 47社 (51.1%) | <input type="checkbox"/> 博士前期 (修士) 修了 | 5社 (5.4%) |
| <input type="checkbox"/> 博士後期終了 | 2社 (2.2%) | <input type="checkbox"/> 学歴不問 | 38社 (41.3%) |

Q3 - 3. 採用対象の外国人の国籍は特定しますか？

- | | | | |
|-------------------------------|-------------|--------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 特定する | 33社 (37.9%) | <input type="checkbox"/> 特定しない | 54社 (62.1%) |
|-------------------------------|-------------|--------------------------------|-------------|

Q4. 外国人採用をする (したい) 理由は何ですか？ (複数回答可)

- | | |
|--|-------------|
| <input type="checkbox"/> 国籍を問わず優秀な人材を採用したい | 46社 (38.7%) |
| <input type="checkbox"/> 海外の事業展開上必要性を感じる | 39社 (32.8%) |
| <input type="checkbox"/> 語学的、文化的な必要性 | 20社 (16.8%) |
| <input type="checkbox"/> その他 | 14社 (11.7%) |

Q5. 外国人採用に当たってインターンシップを実施したいと考えますか？

- | | | | |
|----------------------------------|-------------|--------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 実施している | 4社 (4.2%) | <input type="checkbox"/> 実施したい | 33社 (34.4%) |
| <input type="checkbox"/> 実施したくない | 59社 (61.4%) | | |

以 上